

飛灰組成とde novo 合成能との関係に関する研究	
The Relationships between de novo Synthesis Potential and Compositions of Fly Ash	
<p>ダイオキシン類の排出を抑制するため、飛灰上でのde novo合成反応の解明が重要である。本研究では飛灰種を変え、その組成の違いからde novo合成に重要な因子をつきとめることを目的とした。都市ごみ焼却炉飛灰9種、石炭火力発電所飛灰1種、下水汚泥焼却飛灰2種を対象とした。これらの飛灰を空気雰囲気、300 で30分加熱し、その前後のクロロベンゼン類およびPCBsの濃度を測定した。組成分析との関係からTOC、Cl、Cuがde novo合成に必要な因子であることがわかった。このうち加熱前後のCBzs、PCBs増加率、つまりde novo合成能との相関を調べると、Cuが強い影響を与えていることがわかった。XAFSによるCuの形態分析から、Cu(OH)₂がもっとも強い相関を示していた。この条件においてCu(OH)₂がde novo合成のもっとも重要な銅化合物であることがわかった。</p>	
塩野 敦弘	Atsuhiko Shiono
飛灰、de novo合成、TOC、銅、クロロベンゼン、PCBs	
Fly ash, de novo synthesis, TOC, Cu, Chlorobenzenes, PCBs	